



4月の初めに鮮やかな満開の花を見せてくれた桜の木。桜の花が散った後、花びらや花の萼(がく)が広範囲で園庭に落ちていたのを、用務の富田さんが毎日きれいに掃除をしていただいています。富田さんは嫌な顔ひとつせず、「きれいな花を見せてくれたんだからしょうがないよ」と笑顔で集めてくれます。

私も5歳と2歳の男の子を持つ父であり、日々の生活の中で悩ましく感じることも多くあります。些細なことでも兄弟で揉め事をすることも日常茶飯事。ため息をつきたくなる時もありますが、寝ている表情を見ると「かわいいう寝顔を見せてくれたんだからしょうがないか」と言う言葉と共に富田さんの笑顔が浮かんできます。子育てをする中で大変なことも辛いこともあるかと思えます。そんなときに私たちとお家の方が気軽に話していただけるような関係になればと願っています。お子さんが家庭で見せる姿、園から聞く姿に違いを感じることもあるかもしれませんが、それはどちらもその子で、社会性を身に付けていく中で、色んな面を持って人は形成されていきます。

桃色の花を見せてくれたいた桜の木が、今度は瑞々しい緑の葉を見せてきています。どちらも桜、どちらも素敵です。

園長 梶原 秀一

今月の予定

リトミック
5/16 (月)

今年度も中島先生にリトミックをご指導いただきます。2歳児から参加し、音を聴いたり、ピアノや太鼓の音に合わせて動いたり楽しく活動していきますよ。

おべんとうデー
5/18 (水)



待ち遠しい日！この日は1.5倍の早さで遊んでいる玩具を片付けて、お弁当を食べる準備をしています。朝からみんなお弁当の話題で盛り上がっていますよ。気温もあがってきましたのでよく冷まして、保冷剤も入れてくださいね。

カレーライスの日
5/25 (水)



「おいしくな〜れ」とみんなで作ったカレーは最高です！いよいよかえるグループ(3歳児)の子どもたちもフルチェ作りをおこないますので、エプロン・三角巾のご用意をお願いします。

交通安全教室
5/25 (水) PM

前回はみんな楽しみながらも真剣に教員の皆さんの話をよく聴いていました。今回も4,5歳児が参加し、<信号の並びと道路の渡り方>について学びます。

誕生会
5/26 (木)



みんなでみんなをお祝いすることがふたばランド保育園の良さだと思います。子どもたちは一つ大きくなることで、かなり大きな自信につながるようです！

避難訓練
5/31 (火)

今月は地震の際の身の守り方についてです。咄嗟のときに動けるように、日頃から備えておくことが大切です。

※行事や予定につきましては新型コロナウイルス感染症の感染状況により、変更もしくは中止とせざるを得ない点をご理解、ご承知おきください。

お知らせ・お願い

★着替えの補充をお願いします！

日中は汗ばむような日が増えてきました。着替えケースの中に、半袖等の薄手の衣服の補充をその都度お願いします。自分で衣服を出して着替えることも多いので、着替えの入れ過ぎにもご配慮ください。お洗濯いつもありがとうございます！

★気持ちが良い挨拶ができる

と、大人も子どもも、お互いの気持ちも良くなりますね。子どもたちの挨拶が当たり前ものとなるように、大人の良い姿と一緒に伝えていきましょうね。

★巡回相談をご活用ください

5/24 (火) 9:00~12:00
お子さんの成長・発達について気になることがあれば、専門の知識をお持ちの先生からアドバイスをいただけるかと思えます。お気軽にお申し込みください。

☆内科検診

6月2日 (木)
14:00~の予定です。

☆尿検査

6月8日 (水)
9:00までにお持ちください。検査キットは6月6日に配布します。

☆歯科検診

6月9日 (木)
14:00~の予定です。詳細は後日お知らせします。ご承知おきください。

★保育見学をご希望の方はお気軽にお声掛けください。

月曜日から金曜日であれば見学いただけますので、事前にお声掛けください。活動によってはお断りすることもあるかもしれないことをご承知おきください。

★嘔吐・下痢の症状が出ているお子さんが増えています。

お子さんに体調不良の様子が見られたら「うちは大丈夫」と思わずに、園全体に広げるかもしれないという意識を持ってください。必ず受診をしてからの登園をお願いします。

★記名の確認をお願いします。

靴や衣服など、持ち物の記名を再度ご確認ください。保育園は同じものを持っている子がたくさんいることがあります。自分のものを大切にすることを育てるためにもお願いします。

世界が得をする事、それは平和
世界が大損をする事、それは戦争

春という季節は、夢、希望、憧れと相性がいい。重い服を脱ぎ、身軽になり、桜が咲き、花々が咲き競い、何もかも新しく生まれ変わるからか。▲北竜台の始業式は、園庭と愛国学園で行った。「新年度の始業式は、誰もがみんな一つ大きくなる日です。胸を張って、背中をピンと伸ばし、大きく深呼吸して下さい。そして、お腹の底から元気な声で、園歌を歌って下さい。大きくなって格好良くなったことをお祝いしよう。おめでとう！」と伝えた。そして、3月にいつものお花見終業式ができなかつたので、お花見始業式に出掛けました。広い芝生の校庭、満開の桜、花びらが舞う中で、走り、駆けまわり、汗びっしょりになるほど遊んだ。目的地でおやつとお弁当を食べる予定でしたが、コロナ禍のため、飲食はダメとのこと。で、帰り道の土手の上で、「おやつタイム」。2月末の春探しのお散歩のときと同じ道を通ると、あの時と同じ場所で大きな青大将が、長く伸びてのんびりひなたぼっこをしていた。子ども達が集まってくると、のっそり穴の中に戻ってしまった。子ども達は、交替で穴の中を覗き込み、「また会ったね！」と挨拶していた。のどかで平和な始

業式だった。▲しかし、春になっても、私の気持ちは浮かない。気が滅入る。子ども達の夢、希望より、子ども達の未来が不安である。明らかに環境破壊が原因である気候変動。2月に真夏日になったり、4月に真冬日になったり、台風までも。体調管理が難しく、体調を崩す子もいる。また、環境破壊が一因とする説もあるコロナ禍も一向に収束しない。子どもへの感染も広がってきた。子どもに家族に陽性者が出ただけでも緊張感が走る。感染防止策を徹底して「子どもの樂園」を守らなければならない。気が休まらない。世界中で手を取り合い、力を合わせて環境を守り、コロナに対峙しなければならぬ時に、目つきの悪い虐殺者が、隣国を侵略した。虐殺を支持する国もある。ポピュリズムと独裁国家が増えて、世界中が不安定になっている。国はリーダーが決まる。大衆は戦争と報道統制・プロパガンダで悪いリーダーの下で結束し熱狂する。戦前の日本も同じだった。戦争を起せば、双方の大衆が犠牲になる。リーダーは、平和を守ることに、戦争を起さずリーダーは失格、人間として失格。私達は、未来に、子ども達に責任がある。

理事長 浅田 精利